

3類型	農林水産物	通巻番号	10-25-010
地域資源名	サンゴ	認定日	平成26年2月3日
地域	沖縄県那覇市	所管省庁	経済産業省

事業名: 独自の染色技法「サンゴ染」を活かした、新しい商品の開発・デザイン化とブランド形成

会社名: 有限会社 首里琉染

所在地: 沖縄県那覇市首里山川町1-54

連絡先: TEL: 098-886-1131

H P: <http://www.shuri-ryusen.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

本事業は、化石サンゴという地域資源の特徴を活用し誕生した、独自の染色技法「サンゴ染」に付加価値をつけた、新商品開発・デザイン化・ブランド形成を目標とする。これまでの取り組みを踏まえて、一般消費者・国内外バイヤー向けに、複数の大手流通企業やインターネットを活用した通信販売チャンネルを開拓し、全国に市場拡大することを目指す。繊細な感性と技、あくなき探究心で商品開発を行い、製造ロットの増加に伴うコストダウンによる粗利増を目指す。



[サンゴ染 作業]

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

「サンゴ染」は、商標・意匠登録されている首里琉染の独自の染め技法である。環境配慮の観点から、訴求力・差別化力も有した「化石サンゴ」に付加価値をつけた商品開発は、他では真似できないオリジナルである。新デザインや用途開発を目的としたブランド化、販路開拓に取り組み、競合品、類似品と比べても圧倒的な独自性を有する為、競争優位性は高い。

◆市場性

新商品への期待、潜在的需要に、独自で手掛けてきた「サンゴ染」の紋様を活用する事で、新たな市場創出に期待する。また、連携企業との協力で、手染め(1点もの)の伝統技術を厳守し、プリント製品の展開を図る。生活雑貨等への商品展開を行う事で、日用雑貨、ファッション雑貨市場との協力が可能になる。市場競争力の高い商品を開発する。

◆販路

連携企業が持ち備えた市場ニーズ・機能性の把握、デザインの徹底という新規性の要素を活かして販路開拓、WEBによる直売力を強化。今後4年間に亘り、「サンゴ染」の持つストーリー性のブランディングを開始し、展示会等のPR、製造過程におけるネットワークの構築を通じて、これまでにない新しい販売チャンネルであるデパートへの卸販売の開拓など段階的に取り組み、新たな沖縄ブランド創出に励む。



[サンゴ染 既存商品]

地域資源における関係事業者との連携

製品製造等に優れた企業と連携を組み、高付加価値商品の製造を行う。また、連携企業が蓄積している市場ニーズ・機能性・販路を利用しながら、サンゴ染のデザイン化・ブランド化を段階的に進め、サンゴ染を心に響く沖縄の贈り物として、大きな市場を確保し、新たな沖縄ブランドとなる生産拠点沖縄の確立を目指す。



[開発予定 商品]